

デンタル CAD/CAM の活用法

宗村 裕之

(日本歯科技工士学会認定士)

デンタル CAD/CAM はここ近年めざましい速度で発展してきている。現在 CAD/CAM は一般工業界では当たり前のもになってきており、その加工技術と使用材料は歯科界でも応用されている。

CAD とは **Computer Aided Design** の頭文字 コンピュータの助けを借りて設計するという意味。CAM とは **Computer Aided Manufacturing** の頭文字 コンピュータの助けを借りて製造するという意味。

デンタル CAD/CAM が発表された当時は、適合、材質共に全く使い物にならない状態だったが、近年 CAD/CAM の技術進歩により **Digital Impression** を初めインプラント上部構造、審美歯科の対応、患者ごととなるオーダーメイドの製作物が、精度の高い補綴物として提供できるようになった。しかしメーカー主導型になっていて莫大な設備投資をしたのにオブジェ状態になっているシステムも少なくない。

今回デンタル CAD/CAM について国内外のシステムを紹介し、実際の体験をもとにして歯科における上手な「デンタル CAD/CAM の活用法」について発表する。